

報道機関関係者 様

(室蘭市・足立区・墨田区・沼津市・千葉市・東京大学生産技術研究所 同時発表)

次世代型市民協働プラットフォーム“My City Report”の 実証実験を9月から5自治体合同で開始します！

～「ちばレポ（ちば市民協働レポート）」の全国版アプリケーションを用いた実証実験～

東京大学生産技術研究所（研究代表：関本義秀准教授）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）からの研究委託を受け、平成28年11月より平成30年度末まで「次世代型市民協働プラットフォーム“My City Report”」の研究開発を、千葉市を含む5の市区で実施しています（平成29年1月19日に千葉市・東京大学生産技術研究所の共同で記者発表を実施しました）。

このたび、本研究開発によって構築中のプラットフォームを用いて、共同研究に参画する5の市区において、市民参加型によるスマートフォン端末を使用した街の不具合等の投稿に関する実証実験を本年9月より順次開始しますのでお知らせします。

1 研究開発の概要について

(1) 研究開発全体の趣旨・目的

「ちばレポ」をベースに、さらに機械学習、IoT や最適資源配分等の機能を組み込んだオープンソースの次世代型の市民協働型プラットフォームを開発し、全国の地方自治体に展開を目指す“My City Report”の開発・実証を、自治体の関係部署や市民の参画により行う。実証実験終了後も、システム提供サービスを継続利用するための仕組み（共同運営の方法）も併せて検討する。

(2) 本実証実験の目的

現在構築中のプラットフォーム（管理システム・スマートフォン向けブラウザ環境ともβ版として公開）を用いて、街の不具合等に関する市民との協働プロセスについての実証を行い、行政内部での業務フローの検証やシステム側の改善を行うため。なお今回はブラウザアプリケーション環境の実証実験として実施し、スマートフォンアプリ化は来春以降を予定しています。

(3) 実証実験参加団体と役割

	参加団体	役割
実験主体	東京大学生産技術研究所 関本研究室（代表）、長井研究室、本間研究室	全体統括、道路維持管理業務高度化のための研究開発
	合同会社 Georepublic Japan	実証実験用システム開発・運用
	(一社) 社会基盤情報流通推進協議会	実証実験データの収集・配信・利活用等への助言
自治体	室蘭市、足立区、墨田区、沼津市	システム開発に関する助言等、開発システムを用いた市民参加による実証実験の実施
	千葉市	現行ちばレポに係る情報提供、運用やシステム開発に関する助言等、開発システムを用いた市民参加による実証実験の実施

※茂原市、市原市及び長久手市がオブザーバとして研究開発の検討会に参加。

※実証実験は市民と関わって実施する事が条件。また、オブザーバは検討会実施期間中に実証実験の開始を模索する、あるいは何らか積極的なフィードバックがあると、研究主体が特別に認めた主体に限る。

(4) 市民参加型による実証実験の実施期間（平成 29 年度分）

・平成 29 年 9 月 25 日～平成 30 年 3 月中

※ただし、実証実験のため構築中のプラットフォームや参画自治体の都合により期間および投稿内容が変更することがあります。詳細につきましては、実証実験 Web サイトや実証実験に参加する自治体からのお知らせ等をご参照ください。

(5) 実証実験 Web サイト（トップページ） <https://www.mycityreport.jp>

2. “My City Report” の概要

(1) システム構成等について

別紙 1 「システム構成概要」

別紙 2 「実証実験で用いるアプリケーションの概要」

別紙 3 「My City Report の開発計画」

(2) 本実証実験期間における実施予定機能

(i) 地域課題等の投稿機能【困ったレポート・テーマレポート】

- ・スマートフォン、パソコン等から地域課題等（道路、公園等）を投稿する機能
- ・自治体独自で収集したい課題設定をするレポート（テーマレポート）を投稿管理する機能

(ii) 市民と行政による協働機能【かいけつレポート】

- ・地域課題を市民との協働または市民自身により解決するためのイベント生成・管理機能

(iii) 行政内部での地域課題等の管理・処理機能

- ・自治体内における地域課題等（道路、公園等）の情報共有・現場処理フロー機能
- ・公開型地図による対応状況（公開可能な投稿内容に限定）の地図化

※参画自治体の都合等により期間および投稿内容が変更することがあります。詳細につきましては実証実験 Web サイトや実証実験に参加する自治体からのお知らせを参照ください

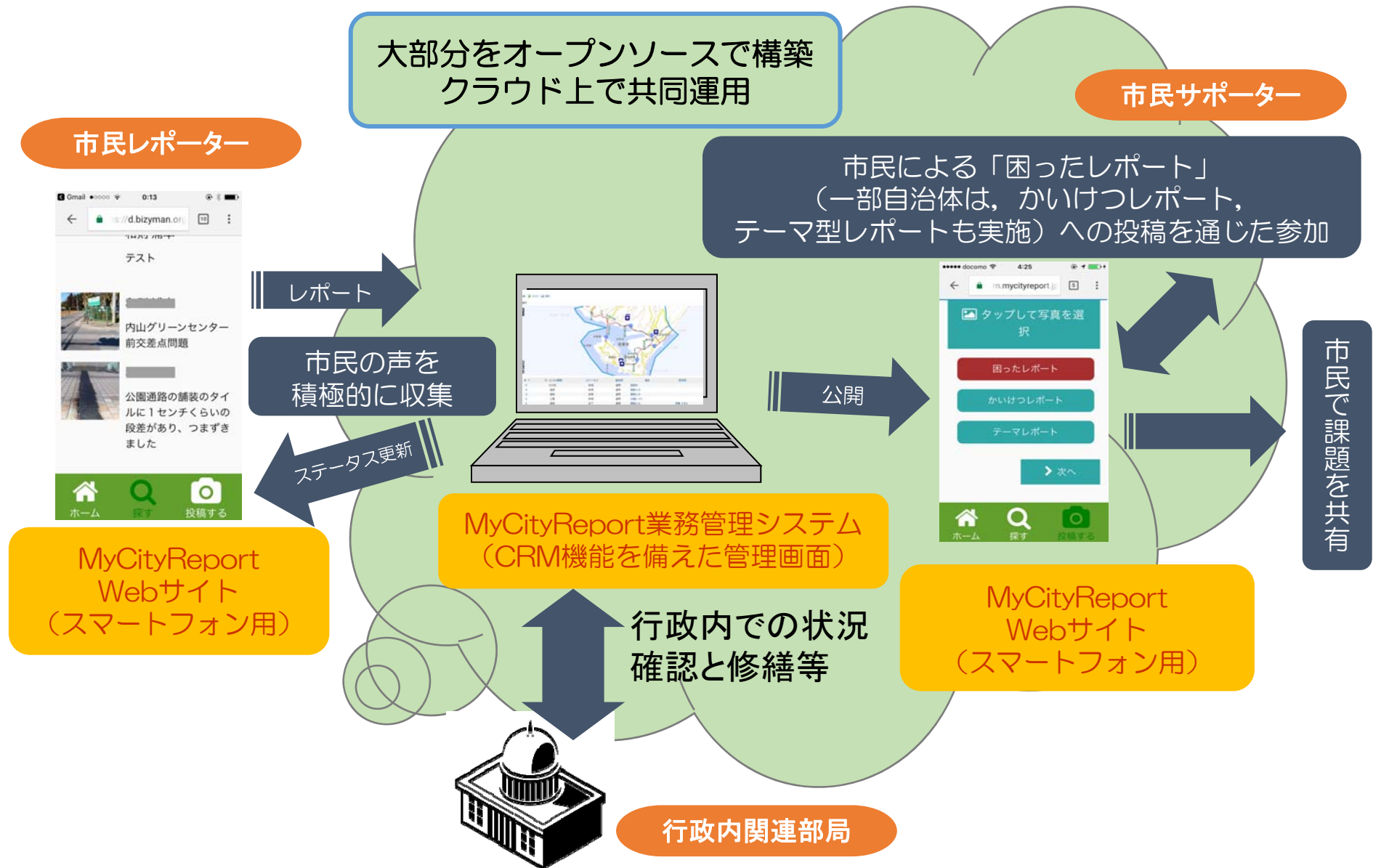
※本システムの機能追加・改善等につきましては別途開発計画に基づき実証実験と並行して進めておりますため、市民を中心とした参加者のみなさまにはシステムの動作確認という観点ではなく、本研究開発全体の狙いとする市民協働を体験・理解頂き、こういった取り組みに関するご意見を合わせてお聞きしたりすることを想定しています。

(3) 各自治体における実証実験の実施内容（予定）

参加団体	困ったレポート	かいけつレポート	テーマレポート	実証実験の開始時期（予定）	実証実験の対象者
室蘭市	○（道路・公園・その他）	-	-	9月～	一般市民
足立区	○（道路・廃棄物・その他）	-	-	10月～	区内大学
墨田区	○（道路）	-	-	10月～	区内関連団体
沼津市	○（道路・公園・河川・観光施設）	-	-	11月～	市内市民団体
千葉市	○（道路・公園・ごみ・その他）	○	○	10月～	ちばレポートライター

本実証実験におけるシステム構成(案)

別紙1



実証実験用の市民投稿アプリケーション & 管理用システム

①プロジェクト全体のトップページ

<https://www.mycityreport.jp>



②各市区のサイトを選択

あなたのまちのサイトを見る



③スマートフォン向け画面



- ・市民がスマートフォン用ブラウザを介して、テキスト、位置情報、画像により町の不具合などを投稿
- ・投稿内容(公開状態のもの)の確認

④自治体側管理画面



- ・自治体ごとに管理画面上で投稿情報の管理
- ・地図上での投稿場所等の確認
- ・フィルタやトラッキング機能による進捗管理

- ・投稿内容の公開設定
- ・自治体内での部局対応
- ・投稿内容に対する返答

⑤投稿状況地図



MyCityReportの開発計画

機能名	2017年度 上半期	2017年度 9月以降～	2018年度中
ユーザー登録・管理機能	○		
地域課題登録・管理機能	○		
市民協働案件登録・管理機能	○	※(一部改修予定)	
テーマレポート登録・管理機能	○	※(一部改修予定)	
業務管理機能	—	○(共通部分)	※(一部改修予定)
帳票作成機能	—	○(共通部分)	※(一部改修予定)
外部連携機能(Open311等)	—	○	
その他機能(共通部分)	—	○	※(一部改修予定)

※機械学習・IoT技術を用いた現場の知の共有機能、行政リソースの最適配分機能については別途開発中で、今年度は市民参加型による実証実験の内容には含まれません。